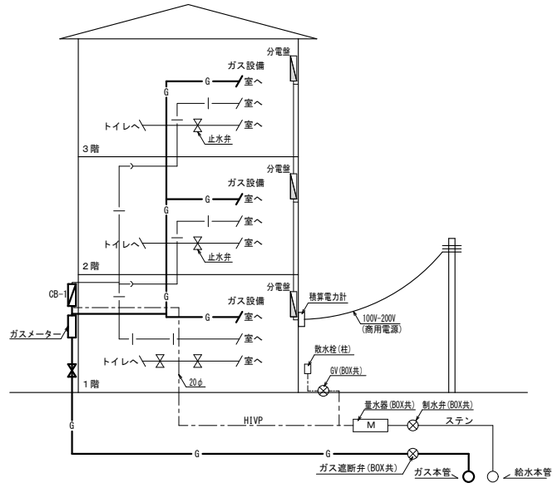
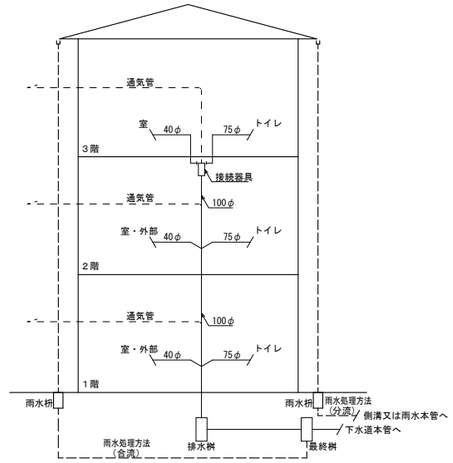
建築設備標準図

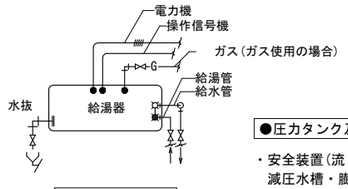
○建築設備標準図	・建築設備標準図は、各設備工事の標準的施工例(設置、接続、配管方法等)を示しており、特記が無い場合、当該標準図の施工方法の採用するものとする。
○ガス設備	・都市ガスを使用する場合には、ガス事業法第40条の4の規定に基づき施工するものとする。 ・プロパンガスを使用する場合には、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2の規定、圧縮された天然ガスを使用する家庭用設備等を設置する場合にあっては、高圧ガス保安法第24条の技術基準に基づき、施工するものとする。 ・ガス設備については昭56建告1099号に準じたガス栓の構造のものとする。もしくは、JIS規格に適合した逆流出安全機構付コック(ヒューズコック)を設けるものとする。
○電気設備	・電気設備工事については原則として、「電気事業法第39条第1項及び同法第56条第1項で定める電気設備に関する技術基準を定める省令」の規定に基づき計画、施工するものとする。
○防火区画等の貫通部処理方法	・防火区画等を貫通する各種の配管がある場合には、建築基準法施工令第129条の2の5第1項第7号のいづれかに対応するものとし、防火上安全な方法にて措置を講ずるものとする。また、一部の配管等については平12建告1422号の規定を適用した場合は、その隙間を不燃材にて埋めるものとする。
○延焼線内の換気口等	・特記が無い場合、延焼線内の換気口等で開口面積が100㎠以内のものは、スチール又はステンレス、アルミ(t=1.2mm以上)で造られた防火覆いとし、開口面積が100㎠を超えるものについては防火ダンパー(FD)を設置するものとする。
○換気設備	・換気設備の能力選定については、ダクト、ダンパー、防火覆い(VC･PH)等による圧力損失を考慮した静圧を確保できるように選定するものとする。
○給排水衛生設備	・給排水設備の構造は建築基準法施行令に基づく衛生上の規定を準拠するとともに、昭50建告1597号、平12建告1390号に定められた基準によるものとする。 ・排水設備については、下水道法第10条第1項、第3項及び同法施行令第8条による基準に適合するものとする。満水時の質量15kgを超える給湯器設備等に関する、建築設備の構造耐力上安全な構造方法(平12建告1388号改正(平24国交告1447号))にて措置を講ずるものとする。 ・排水管の勾配は、「排水管の容量は(管径)」に応じて、SHASE-S206の排水管選定図に基づく表による。 ・排水管の容量(管径)の算定手法は、排水負荷単位法による。 ・ウォーターハンマーが生じる場所は、エアチャンバーを設ける。 ・貯湯式給湯器の排水は間接排水とする。 ・雨水管は、汚水桝との合流前にトラップを設ける。 ・火を使用する設備及び火災の発生のおそれのある設備の位置及び、構造その他火災予防条例の為に、必要な措置は火災予防条例の規定に適合すること。 ・給水管に使用するライニング鋼管には、ライニング鋼管用コア内臓継手を使用する。 ・水栓と衛生器具類等のあふれ面との吐水口空間を確保すること。(水栓開口部よりの逆流防止) ・給水管の埋設配管は、凍結深度以下に埋設すること。 ・排水配管には、適切な有効な勾配を設けること。 ・衛生器具、流し、トラップを設置し、封水深さは50mm～100mm以下とする。 ・排水管の算出には定常流量法を採用する。
○給湯設備	・FF給湯器の給排気筒は二重管（認定品）とする。 ・FF給湯器の給排気トップは側方及び下方150mm、上方300mm、前方600mm以上離隔をとる。



電気・給水・ガス配管系統図



排水管系統図



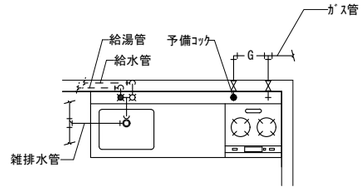
給湯器廻り給排水

●圧力タンク及び給湯設備

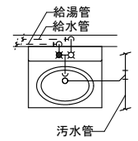
・安全装置(流し弁・膨張管・圧力調整装置)減圧水槽・膨張水排水装置）はＪＩＳ認定品を使用する。

・配管は以下の材料を使用する。

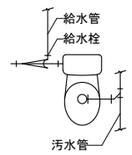
配管名称	凡例	材料
給水管	― ― ―	・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・水道用硬質塩化ビニル管 ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 ・一般配管用ステンレス鋼管 ・水道用ポリエチレン管
給湯管	―｜―	・銅管 ・被覆銅管 ・保温付き被覆銅管
ガス管	―G―	・配管用炭素鋼鋼管(白)JIS G 3452-SGP-白) ・ガス供給会社指定材
排水管(汚水)	―――	・硬質塩化ビニル管等
通気管	― ― ―	・硬質塩化ビニル管等



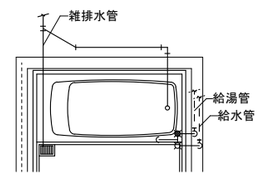
流し廻り給排水



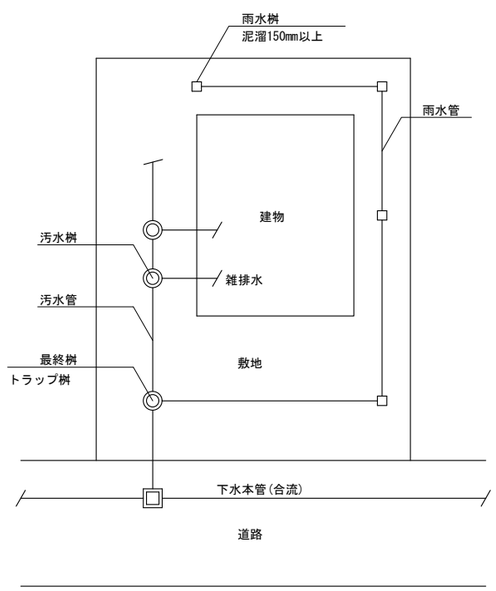
洗面廻り給排水



便所廻り給排水

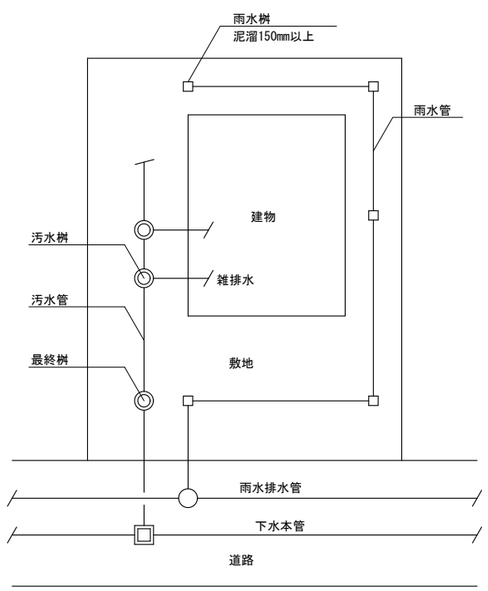


浴室廻り給排水



配管勾配は自治体の要綱による

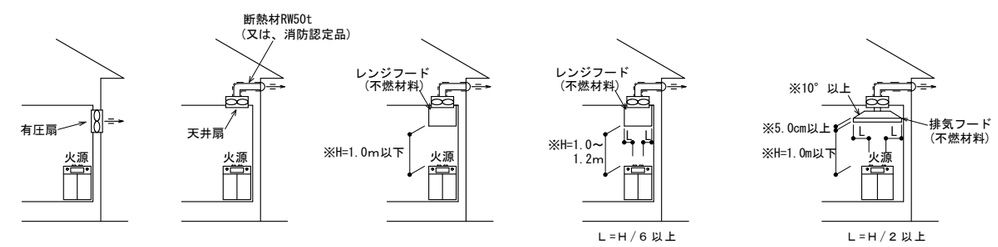
排水接続（合流の場合）



配管勾配は自治体の要綱による

排水接続（分流の場合）

○火気使用室の換気風量について
（S45建告1826号第3）



フード無し　　Ⅰ型フード　　Ⅰ型フード同等　　Ⅱ型フード

（レンジフード、キッチンフード）　　（排気フード）

換気風量：Ｖ＝４０・Ｋ・Ｑ　　換気風量：Ｖ＝３０・Ｋ・Ｑ　　換気風量：Ｖ＝２０・Ｋ・Ｑ

設計者資格：（　　）建築士　第　　号

設計者氏名：